

平成 28 年度九州がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

第 4 回九州がんプロ全体研修会

2017 年 1 月 21 日～22 日の 2 日間、今回は我々が当番大学として、長崎にしゅうかんにて研修会を行った。長崎大学芦澤和人教授のご挨拶で会はスタート。

研修会はグループ学習の形をとっており、まず、最初アイスブレーキングとしてグループ内で 2 名ずつのペアとなり、他己紹介を行った。



症例検討は 2 例、長崎大学本田先生に膵癌の症例、鹿児島大学の政先生に消化管（及び肝腫瘍）の症例を提示していただき、まずはグループ討論、そして発表、活発な討議がなされた。





いずれも進行癌症例に対する診断のアプローチ、治療法の選択、そして実際の診断、転機、実症例の主治医としての患者を前にしての悩みを皆で共有し、どう考え、どうアプローチするのが最良であったのかについて、それぞれの立場から意見を出し合いながら活発な議論がなされ有用であった。

通常の夕食の後に、2次会を行い、他大学との交流ができた。

【二日目】

前日の症例のおさらい、ディスカッションの後に、各先生より症例の解説がなされた。

次に、九州大学馬場英司教授より「消化器癌化学療法の実況と展望」という講演をしていただいた。薬剤の作用機序に基づいた考え方、多数の論文、そこから得られるエビデンスと臨床経験から、最新の化学療法について、ご講演いただき、理解が深まった。



最後には鹿児島大学の上野真一教授に閉会の挨拶をしていただいた。会全体を通して、九大、福岡県立大、鹿児島大、琉球大、長崎大と様々な施設、かつコ・メディカルも含めた会での討論会、懇親会で知識とともに交流を深めることができ有意義な2日間であった。

長崎大学 臨床腫瘍学 林 秀行